

# 参加公募のお知らせ（2015年度）

公益財団法人 応用科学研究所 2015.03.20

応用科学研究所は、機械に関する基盤技術、製造・評価実務を取り扱っている数少ない公益財団です。大学や企業との共同研究のほか、高周波を用いた鉄鋼の熱処理技術の開発、プラズマ窒化技術の開発、鉄鋼材料の品質検査・評価、事故品検査と対策提案などの公益事業も行っています。そして、多くの方々に参加して頂くことの出来る公益事業として、本年度は以下の事業への参加者を公募しております。貴社の技術力を高め、あるいは貴方の技術知識を高め、技術を習得するなどして実務に役に立てられますよう、ふるってご参加ください。

## 1. 社会人教育コース「鐵を識る」

既に平成 22 年から実施している事業です。鉄鋼に関する教育コースで、鉄鋼の製造から冶金学的知識、熱処理や表面処理の基礎から実務的知識、鐵の品質検査や損傷面の解析技術の実習を、基礎コース、実用コース、実技演習コースとして行います。おのこのコースは4回の授業を、6月、9月、12月の毎土曜日に日本最高の講師陣を揃え実施致します。

<http://www.rias.or.jp/indexp.php?mid=15> をご参照の上、ふるってご参加ください。

## 2. 機械基盤研究施設 公募型共同研究：rias\_X1「焼入れ後仕上げ加工歯面性状向上法の開発」

大形歯車では5軸制御マシニングセンタで歯車を製作するのが主流になる趨勢で世界は動いています。しかし、歯面の耐久力については従来の研削歯車と同等であるかどうかには若干の問題もあるように言われることもあります。そこで、その歯面の粗さやうねり、歯面材の結晶組織状態、残留応力状態などの surface integrity を今までの伝統的加工法によるものと同等以上にする技術を、機械基盤研究施設の最新設備を用い、日本最高のアドバイザーのもとに開発します。この公募型研究開発プロジェクトでは、研究経費分担による参加や研究実務作業員の派遣による参加など、参加形態は種々選択が可能であり、プロジェクトへの貢献度に応じた受益配分が運営の原則です。

募集開始 2015年4月1日、 研究期間 2015年9月1日～2017年8月31日

<http://www.rias.or.jp/indexp.php?mid=24> をご参照の上、ふるってご参加ください。

\*この度（公財）応用科学研究所に新設された機械基盤研究施設では、公募研究のほか、**受託研究、共同研究、試作受注、検査業務**も行っております。施設概要については

<http://www.rias.or.jp/indexp.php?mid=23> をご参照ください。

\*設備機器については <http://www.rias.or.jp/indexp.php?mid=38> をご参照ください。

\*本施設における各種業務が現在の日本の機械基盤技術発展に寄与する意義にご賛同頂ける**賛助会員を募集**致しております。貴社におきましてご検討頂き、是非ともご援助頂けますようお願い申し上げます。詳細については <http://www.rias.or.jp/indexp.php?mid=31> をご参照ください。